



2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東
 コード番号 7800 URL <https://www.amifa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 倫三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 川上 康夫 TEL 03 (6432) 9500
 定時株主総会開催予定日 2020年12月18日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月18日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の業績 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	4,785	△3.7	262	△20.2	266	△7.4	173	△2.1
2019年9月期	4,966	4.9	329	78.9	287	44.6	176	△33.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	53.81	53.71	8.3	9.2	5.5
2019年9月期	64.02	63.40	9.6	10.5	6.6

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 ー百万円 2019年9月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	2,938	2,155	73.3	668.34
2019年9月期	2,871	2,037	70.9	636.61

(参考) 自己資本 2020年9月期 2,155百万円 2019年9月期 2,037百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	396	△40	△141	1,332
2019年9月期	462	△20	107	1,115

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	19.00	19.00	60	29.7	3.3
2020年9月期	—	0.00	—	19.00	19.00	60	35.3	2.9
2021年9月期 (予想)	—	0.00	—	19.00	19.00		40.9	

3. 2021年9月期の業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	4.5	240	△8.7	245	△8.0	150	△13.3	46.51

(注) 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年9月期	3,225,000株	2019年9月期	3,200,000株
2020年9月期	－株	2019年9月期	－株
2020年9月期	3,215,710株	2019年9月期	2,759,959株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予想の適切な記述等についてのご説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法及び決算説明会開催について)

決算補足説明資料は、本日の決算発表時に当社ウェブサイトに掲載しております。

決算説明会は2020年11月20日（金）に当社ウェブサイトを通じビデオ配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. その他	12
(1) 剰余金の配当の決定に関する基本方針及び当期・次期の配当	12
(2) 役員の変動	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、相次ぐ台風による甚大な被害、消費税増税、米中間の通商問題等の影響もあり低調に推移する中、3月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大により急速に悪化し、今なお収束の見通しが立たない状況で大きなマイナス成長となりました。こうした環境下、当社においては、中国における新型コロナウイルス感染症の拡大により、2月～3月には、一時的に委託生産が遅れる影響がありましたが、主要顧客への販売拡大に向けて、新商品の提案を積極的に行い、第2四半期会計期間まではおおむね順調に推移いたしました。しかし、4月7日の政府の緊急事態宣言に基づく地方自治体の自粛要請により、行楽、レジャー、パーティーなど、人々が集うシーンで使われる商品などの販売が主に落ち込み、緊急事態宣言が5月25日に解除された以降もそれらの売上は依然厳しい状況が続きました。

これを受け、当事業年度における当社のライフスタイル雑貨の商品群別累計売上高は、「ワンプライス商品」が4,473,568千円（前期比0.3%増）、「OEM商品」が216,173千円（同19.5%減）、「フルール商品」が93,481千円（同58.4%減）、「その他商品」が1,891千円（同84.0%減）となりました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高は4,785,114千円（前期比3.7%減）、営業利益は262,987千円（20.2%減）、経常利益は266,384千円（同7.4%減）、当期純利益は173,037千円（同2.1%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は2,753,788千円となり、前事業年度に比べ52,220千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が216,223千円増加した一方、たな卸資産が177,064千円減少したことによるものであります。固定資産は185,210千円となり、前事業年度末に比べ15,164千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2,300千円減少、無形固定資産が21,490千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,938,999千円となり、前事業年度末に比べ67,384千円増加いたしました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は423,614千円となり、前事業年度末に比べ16,103千円増加いたしました。これは主に未払金が79,075千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が18,132千円減少、未払法人税等27,203千円減少、賞与引当金20,853千円減少したことによるものであります。固定負債は359,980千円となり、前事業年度末に比べ66,958千円減少いたしました。これは主に長期借入金70,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、783,594千円となり、前事業年度末に比べ50,854千円減少いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は2,155,404千円となり、前事業年度末に比べ118,239千円増加いたしました。これは主に当期純利益173,037千円、配当金支払60,800千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は73.3%（前事業年度末は70.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ216,223千円増加し、当事業年度末には1,332,039千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は396,976千円（前年同期は462,565千円の収入）となりました。これは主に税引前当期純利益266,384千円、たな卸資産の減少による収入177,064千円及び法人税等の支払額115,543千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は40,289千円（前年同期は20,273千円の支出）となりました。これは主に固定資産の取得による支出20,043千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は141,701千円（前年同期は107,792千円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出88,132千円及び配当金の支払60,619千円によるものです。

（4）今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えない状況下、「Go Toトラベル キャンペーン」等、景気回復へ向けられた諸施策がとられ、経済の先行きに明るい兆しが見られるものの、依然不透明な経済状況が続いております。

このような状況下、当社が属する流通業界は、「アフター・コロナ」、「ウィズ・コロナ」を見据えて新しい生活様式に則した商品や販売方法、サービスへ転換していくことが求められております。

当社は約6,000種類以上の商品を製造販売していますが、その中でイベントやレジャーなどで人が密接に集まるシーンで使われる商品群の売上は、今後も厳しい状況が続くと予想しており、商品群構成の最適化を最優先課題として取り組んでまいります。

また、新しい生活様式に変化していく消費行動や嗜好の変化等を今後も的確かつタイムリーにとらえた商品構成とするために、商品開発力・企画提案営業力のさらなる向上に注力してまいります。

さらに、ICT投資などを通じて企画開発・製造・品質管理・物流プロセスの全社的改善を通じて品質向上と労働生産性向上を進め、コスト低減を徹底し収益力向上を図ってまいります。

以上により、2021年9月期の業績見通しにつきましては、売上高5,000,000千円、営業利益240,000千円、経常利益245,000千円、当期純利益150,000千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,115,815	1,332,039
受取手形	5,559	2,032
電子記録債権	3,027	1,699
売掛金	374,064	391,498
たな卸資産	1,163,425	986,360
前渡金	15,878	11,656
前払費用	23,602	25,607
その他	1,020	3,142
貸倒引当金	△825	△247
流動資産合計	2,701,568	2,753,788
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	73,456	74,041
減価償却累計額	△44,048	△48,101
建物附属設備（純額）	29,407	25,940
車両運搬具	7,693	9,632
減価償却累計額	△6,367	△3,836
車両運搬具（純額）	1,326	5,796
工具、器具及び備品	103,666	72,464
減価償却累計額	△75,069	△47,169
工具、器具及び備品（純額）	28,597	25,294
有形固定資産合計	59,331	57,031
無形固定資産		
商標権	3,572	3,239
ソフトウェア	26,899	13,971
ソフトウェア仮勘定	—	34,750
その他	288	288
無形固定資産合計	30,759	52,249
投資その他の資産		
投資有価証券	2,923	4,475
長期前払費用	—	11
繰延税金資産	38,191	33,739
敷金	38,840	37,703
破産更生債権等	2,471	1,958
貸倒引当金	△2,471	△1,958
投資その他の資産合計	79,955	75,929
固定資産合計	170,045	185,210
資産合計	2,871,614	2,938,999

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年9月30日)	当事業年度 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,862	23,504
1年内返済予定の長期借入金	88,132	70,000
未払金	160,489	239,565
未払費用	15,844	14,645
未払法人税等	59,287	32,084
前受金	90	167
預り金	7,753	10,049
賞与引当金	48,381	27,528
その他	2,669	6,069
流動負債合計	407,510	423,614
固定負債		
長期借入金	157,500	87,500
退職給付引当金	15,104	18,145
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	426,939	359,980
負債合計	834,449	783,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,000	35,525
資本剰余金		
資本準備金	—	3,525
その他資本剰余金	268,248	268,248
資本剰余金合計	268,248	271,773
利益剰余金		
利益準備金	8,000	8,000
その他利益剰余金		
別途積立金	400,000	400,000
繰越利益剰余金	1,329,366	1,441,603
利益剰余金合計	1,737,366	1,849,603
株主資本合計	2,037,614	2,156,902
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,295	2,472
繰延ヘッジ損益	△1,745	△3,969
評価・換算差額等合計	△449	△1,497
純資産合計	2,037,165	2,155,404
負債純資産合計	2,871,614	2,938,999

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）	当事業年度 （自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）
売上高	4,966,549	4,785,114
売上原価		
商品期首たな卸高	843,625	1,090,736
当期商品仕入高	3,127,859	2,504,865
合計	3,971,485	3,595,602
商品期末たな卸高	1,090,736	891,687
売上原価	2,880,748	2,703,915
売上総利益	2,085,801	2,081,199
販売費及び一般管理費	1,756,094	1,818,212
営業利益	329,706	262,987
営業外収益		
受取利息	3	158
受取配当金	56	64
為替差益	—	608
固定資産売却益	137	999
受取和解金	—	1,200
助成金収入	—	861
その他	14	1,368
営業外収益合計	211	5,260
営業外費用		
支払利息	2,067	1,204
匿名組合投資損失	917	658
株式交付費	24,698	—
株式公開費用	13,500	—
為替差損	936	—
その他	160	0
営業外費用合計	42,282	1,863
経常利益	287,635	266,384
税引前当期純利益	287,635	266,384
法人税、住民税及び事業税	119,873	88,340
法人税等調整額	△8,917	5,006
法人税等合計	110,956	93,347
当期純利益	176,679	173,037

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	32,000	—	19,727	19,727	8,000	400,000	1,204,841	1,612,841	△51,779	1,612,790
当期変動額										
剰余金の配当							△52,155	△52,155		△52,155
当期純利益							176,679	176,679		176,679
自己株式の処分			248,521	248,521					51,779	300,300
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	248,521	248,521	—	—	124,524	124,524	51,779	424,824
当期末残高	32,000	—	268,248	268,248	8,000	400,000	1,329,366	1,737,366	—	2,037,614

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合 計	
当期首残高	2,228	29,970	32,198	1,644,989
当期変動額				
剰余金の配当				△52,155
当期純利益				176,679
自己株式の処分				300,300
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△932	△31,716	△32,648	△32,648
当期変動額合計	△932	△31,716	△32,648	392,176
当期末残高	1,295	△1,745	△449	2,037,165

当事業年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本									自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余金					
						別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	32,000	—	268,248	268,248	8,000	400,000	1,329,366	1,737,366	—	2,037,614	
当期変動額											
新株の発行（新株予約 権の行使）	3,525	3,525		3,525						7,050	
剰余金の配当							△60,800	△60,800		△60,800	
当期純利益							173,037	173,037		173,037	
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）											
当期変動額合計	3,525	3,525	—	3,525	—	—	112,237	112,237	—	119,287	
当期末残高	35,525	3,525	268,248	271,773	8,000	400,000	1,441,603	1,849,603	—	2,156,902	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合 計	
当期首残高	1,295	△1,745	△449	2,037,165
当期変動額				
新株の発行（新株予約 権の行使）				7,050
剰余金の配当				△60,800
当期純利益				173,037
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	1,176	△2,224	△1,048	△1,048
当期変動額合計	1,176	△2,224	△1,048	118,239
当期末残高	2,472	△3,969	△1,497	2,155,404

（4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）	当事業年度 （自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	287,635	266,384
減価償却費	34,649	34,224
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,541	△1,091
賞与引当金の増減額（△は減少）	25,591	△20,853
退職給付引当金の増減額（△は減少）	112	3,041
有価証券売却損益（△は益）	—	△81
受取利息及び受取配当金	△59	△222
支払利息	2,067	1,204
為替差損益（△は益）	7,252	△1,237
受取和解金	—	△1,200
助成金収入	—	△861
固定資産売却損益（△は益）	△137	△999
匿名組合投資損益（△は益）	917	658
株式交付費	24,698	—
売上債権の増減額（△は増加）	452,114	△12,578
たな卸資産の増減額（△は増加）	△213,944	177,064
仕入債務の増減額（△は減少）	△20,253	△1,358
その他の資産の増減額（△は増加）	△13,921	1,558
その他の負債の増減額（△は減少）	△15,829	67,789
小計	572,435	511,440
利息及び配当金の受取額	59	222
利息の支払額	△2,067	△1,204
和解金の受取額	—	1,200
助成金の受取額	—	861
法人税等の支払額	△107,861	△115,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	462,565	396,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	327
有形固定資産の取得による支出	△16,089	△20,043
有形固定資産の売却による収入	104	1,000
無形固定資産の取得による支出	△4,288	△21,561
その他の支出	—	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,273	△40,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△116,280	△88,132
自己株式の処分による収入	276,227	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	7,050
配当金の支払額	△52,155	△60,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	107,792	△141,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,252	1,237
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	542,832	216,223
現金及び現金同等物の期首残高	572,983	1,115,815
現金及び現金同等物の期末残高	1,115,815	1,332,039

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響については、「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」に記載のとおりであります。会計上の見積りの仮定については、当事業年度において重要な見直しは行っておりません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社はライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	636.61円	668.34円
1株当たり当期純利益	64.02円	53.81円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	63.40円	53.71円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益（千円）	176,679	173,037
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	176,679	173,037
普通株式の期中平均株式数（株）	2,759,959	3,215,710
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	26,884	6,000
（うち新株予約権（株））	(26,884)	(6,000)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

（1）剰余金の配当の決定に関する基本方針及び当期・次期の配当

①剰余金の配当の決定に関する基本方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しております。利益還元につきましては、将来の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としており、配当性向30%を目標として取り組んでまいります。

当社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項については、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって決定することができる旨を定款に定めております。また、期末配当の基準日は毎年9月30日、中間配当の基準日は毎年3月31日とし、この他、基準日を定めて剰余金の配当をすることができる旨を定款に定めております。

なお、当社が展開するビジネスの特性上、利益が上期偏重型となっており、通期業績をもって配当方針に沿った配当金額を決定すべく、年1回の期末配当にて剰余金の配当を行うことを基本としております。

②当期の剰余金の配当

当期の配当につきましては、上記の方針に基づき、当期の業績及び今後の事業展開に向けた投資等を勘案して1株当たり期末配当金を19円とすることを2020年11月13日開催の取締役会において決定いたしました。

なお、配当金支払日は2020年12月4日を予定しております。

③次期の剰余金の配当

次期の配当につきましては、①の剰余金の配当の決定に関する基本方針に基づいて、特別の事情がない限り期末配当金は当期と同額の1株当たり19円とさせていただきます。

（2）役員の変動

役員の変動につきましては、本日開示の「役員の変動について（お知らせ）」をご参照ください。